

11月1日  
から

# 新たな買取制度がスタート!

例えば、太陽光発電システムにより家庭で作られた電力のうち、自宅で余った電力を、これまでの倍程度の価格である48円/kWhで電力会社に売ることができる制度です<sup>1) 2)</sup>。この制度により日本の太陽光発電導入量を拡大することで、エネルギー源の多様化に加えて、温暖化対策や経済発展にも大きく貢献できます。

1) 住宅用の太陽光発電設備の発電能力が10kW未満の場合

2) 導入当初は住宅用(10kW未満)は48円/kWh、それ以外は24円/kWh。自家発電設備等併設の場合はそれぞれ39円/kWh、20円/kWh



## 買取対象は余剰電力

太陽光発電システムで作られた電力のうち自家消費せずに余った電力が買取対象となります。既に設置された太陽光発電システムも対象となります。

## 買取期間は10年間で買取価格は固定

設置する用途や年度毎に買取価格は異なりますが、それぞれ価格を10年間固定して買取が行われることとなります。<sup>3)</sup>

3) 発電設備等に変更がない場合

## 全員参加型

買取費用については、電力を使用する方々全員で薄く広く御負担いただくこととなります。標準的な一般家庭の場合、一ヶ月あたり数十円~100円未満の負担です。

### ●買取制度の概要



\*自家発電設備等併設の場合は住宅用(10kW未満)は39円/kWh、それ以外は20円/kWh

<http://www.enecho.meti.go.jp/kaitori/>

詳しくは買取制度ホームページをご覧ください。【問い合わせ先】資源エネルギー庁太陽光発電買取制度室03-3501-1511(内線4455~4458)  
システム設置の際の強引な勧誘や制度についての誤った説明等には十分にご注意ください。

広げよう! 太陽光発電!



# なぜ太

# 陽光発電？



## 二酸化炭素の排出量を抑えられるので低炭素社会に貢献

太陽光は、ほぼ無限に降り注ぐクリーンなエネルギー。化石燃料の利用による二酸化炭素の排出量を抑え、低炭素社会を実現するためにも、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの普及が重要です。

## エネルギー源の多様化へ貢献

家庭への太陽光発電システムの導入により、「自宅の電気を新エネルギーでまかなう」ことができるようになります。さらに国単位での導入量を増やすことで、エネルギーセキュリティーの観点からエネルギー源の多様化に貢献できます。

## 経済効果が大きく、幅広い雇用効果が期待

太陽光発電は、材料メーカーから販売、施工会社まで関連産業が幅広く、経済効果の面でも注目されています。また、太陽電池の製造から、販売、施工に至るまで裾野の広い雇用効果が期待されます。

### ●買取制度Q&A

#### Q 買取価格は地域ごとに一定ですか？

A 買取価格は、全国一律です。

#### Q 今後、買取価格は変わりますか？

A 買取価格は契約申込み時点の価格で10年間固定されます（発電設備等に変更がない場合）。ただし、契約申込み年度によってその買取価格は変わります。

#### Q 買取価格はどのように決まりますか？

A 買取価格については、太陽光発電システムの普及状況やシステム価格の動向を見ながら毎年見直しを行っていきます。

#### Q 買取にかかる費用は誰が負担するのですか？

A 電気を使用される方々に薄く広く御負担いただくこととなります。なお、負担の開始時期は平成22年4月1日からになります。

<http://www.enecho.meti.go.jp/kaitori/>

● 詳しくは買取制度ホームページをご覧ください。【問い合わせ先】資源エネルギー庁太陽光発電買取制度室03-3501-1511(内線4455~4458)  
システム設置の際の強引な勧誘や制度についての誤った説明等には十分にご注意ください。 紙へリサイクル可